

「買い物弱者」を救えるか

県内でも高齢者を中心に買い物不自由とする「買い物弱者」のバックアップが課題だ。これに対し、移動スーパーや買い物代行・付き添いの実施、さらに、ドローンを使って物資を配達するための空路ルートを確認する実証実験が始まる。現状の取り組みを報告する。

「野菜ジュースはあ
る？」。高齢者施設を利用す
る女性が、財布を片手に販
売スタッフに声をかけた。

貨物輸送や製品保管を手
掛ける山梨総合運輸(中央
市)は、2018年7月から
移動スーパー「産直やさい
便 甲斐ものや」を運行し
ている。県内では甲府、中
央、昭和、早川の4市町、ま
た、需要が比較的多いとさ
れる東京・多摩地区(八王
子、昭島、福生の3市)にも
販売に訪れている。

同移動スーパー責任者の
宮本真典さん(45)による
と、輸送業は顧客からの依
頼に売上がすべて左右され
てしまったため、「輸送」「保
管」に加えた柱が必要だっ
たという。さらに、同業界は
夜間勤務や長時間労働など
ハードな現場。業界全体で

高齢化が加速度的に進む
中、フルタイムで働けなく
なった社員の受け皿も急務
だった。そこで「輸送業のノ

ウハウを生かした新たな事
業ができないか」と、「地域
貢献」「高齢化社会」「農家
支援」をキーワードに移動



山梨総合運輸が運営する移動スーパー「甲斐ものや」
老人ホーム「シルバークレッジ奥湯村」(甲府市)を訪
れ、感染対策をしながら客が買い物を楽しんでいる

移動スーパー、代行… ドローンで配送

スーパー事業を始めたとい
う。

品ぞろえは青果や生鮮食
品のほか、菓子やパン専門
店の手作りパンなど200
〜300種と豊富だ。農産
物の仕入れは県内の農家に
限り、農家支援に一役買っ
ている。利用者から品物に
関する要望があれば、その
都度対応しているという。
宮本さんは「現物を見て選
んで、買い物を楽しんでも
らうというスタイルで、カ
タログ注文などの他社と差
別化を図っている」と話す。

運行は月、水、金曜に県
内、火、木曜に多摩地区を回
っている。販売希望や時間
は随時受け付けており、来
月初旬には2台目の運行を
開始する予定という。今後
は、年に1台のペースで車
両を増やし、販売エリアも
さらに拡充していきたい考
えだ。